

事業概要シート

施策： ごみの減量化と適正処理の推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： ふれあい収集事業	現状維持	予算額	3,511 千円
			《 3,603 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	千円
		地方債	千円
		その他	千円
		一般財源	3,511 千円

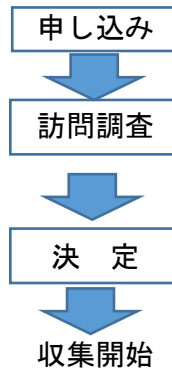
【事業の目的・概要・対象】

- (目的) ごみ集積所まで出すことが困難なお年寄りや障害者などに対し自宅玄関先まで職員が直接ごみを取りに行くこと。
- (概要) ステーション化を進めていく上での対策。申請者の希望により、収集時にあわせて見守り活動として声掛けも行う事業
- (対象者) 要支援認定者、要介護認定者、日常生活支援総合事業の対象者
身体障害者手帳等の交付を受けているもの。

住みよい未来大村市を目指します【利用までの流れ】

ごみ集積所まで出すことが困難な方
対象条件

- ①要支援・要介護の認定者、日常生活支援総合事業の対象者
- ②身体障害者手帳等の交付を受けている者
- ①②に準ずる人で市長が認める者



【背景】

年々高齢化と核家族化が進み、ごみ集積所まで出すことが困難なお年寄り増えてきている。そのようななか、平成29年度7月から本格的にごみステーション化を推進するようになり、さらに対象者が増えることが予想されることから救済処置とステーション化をスムーズに推進できるようにする事業である。

担当課	環境センター	問合せ先	0957-54-3100
-----	--------	------	--------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	ふれあい収集世帯件数	目標値 世帯	96	130	160		
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①		目標値					
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費			4,771	3,603	3,511	3,511	15,396
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源			4,771	3,603	3,511	3,511	15,396
人件費			6,577	4,727	4,727	4,727	20,758
職員			0.65	0.65	0.65	0.65	2.60人
時間外勤務			0	0	0	0	0h
嘱託員			1.00	0.00	0.00	0.00	1.00人
フルコスト	0	0	11,348	8,330	8,238	8,238	36,154

妥当性 (市の関与)	今後、可燃ごみのステーション化を推進することとしているが、ステーションまでのごみ出しが困難な世帯のふれあい収集は必要不可欠な事業である。家庭から排出される廃棄物については、市の責任で処理しなければならない。
有効性 (施策貢献度)	ステーション化の促進に繋がる事業である。
効率性 (コスト)	高齢化社会が進むにつれて、コストは増大していく見込となる。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり